第25回定時株主総会
インターネット開示事項

連結計算書類の連結注記表

計算書類の個別注記表

（平成28年10月１日から平成29年９月30日まで）

アクセルマーク株式会社

「連結計算書類の連結注記表」及び「計算書類の個別注記表」につきましては、法令及び当社定款に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト（http://www.axelmark.co.jp/）に掲載することにより、株主の皆さまに提供しております。

連結注記表

１．連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項に関する注記等

(1) 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数　３社

連結子会社の名称

アクセルゲームスタジオ株式会社

アクセルゲームエンターテインメント株式会社

Game Creator Incubation有限責任事業組合

(2) 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

(3) 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

(4) 会計方針に関する事項

① 資産の評価基準及び評価方法

有価証券

その他有価証券

時価のないものは移動平均法による原価法によっております。

なお、投資事業組合への出資については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

たな卸資産

仕掛品　個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価の切下げの方法により算定）

② 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産　定率法によっております。ただし、平成28年４月１日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数については下記の通りであります。

建　物：８～18年

工具、器具及び備品：４～15年

無形固定資産　定額法によっております。なお、ソフトウエアについては、当社の利用可能期間（５年）に基づいております。

③ 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案しております。

賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当連結会計年度対応額を計上しております。

④　のれんの償却方法及び償却期間

　　のれんの償却については、その効果の発現する期間（５年）にわたり、均等償却しております。なお、当連結会計年度末における残高はありません。

⑤　その他連結計算書類作成のための基本となる事項

消費税等の会計処理

　　消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

２．追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号　平成28年３月28日）を当連結会計年度から適用しております。

（連結納税制度の適用）

当社及び一部の連結子会社は、当連結会計年度より連結納税制度を適用しております。

３．連結貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額　　31,585千円

４．連結株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の総数に関する事項

当連結会計年度末の発行済株式の種類及び総数

普通株式　　4,370,900株

(2) 配当に関する事項

該当事項はありません。

(3) 当連結会計年度末の新株予約権（権利行使期間の初日が到来していないものを除く。）の目的となる株式の種類及び数

普通株式　　975,000株

５．金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

① 金融商品に対する取組方針

当社グループの資金運用については、預金等の安全性の高い金融資産で行い、投機的な取引は行わない方針であります。また、資金調達については、資金計画に基づき銀行等金融機関からの借入や新株の発行等により資金を調達しております。

② 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、与信管理規程に従い、取引先毎に期日及び残高管理を行う体制としております。また、投資有価証券である株式は、四半期毎に発行体の財務状況等の把握に努めております。

営業債務である買掛金及び未払金は、その大部分が３ヶ月以内の支払期日であります。当該債務については流動性リスクに晒されておりますが、資金繰計画を作成すること等の方法により管理しております。

借入金の使途は運転資金であり、金利の変動リスクに晒されています。長期借入金については金利の変動リスクを回避するため固定金利により調達しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成29年９月30日における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

（単位：千円）

	連結貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	969,303	969,303	－
(2) 売掛金	274,860	274,860	－
資産計	1,244,163	1,244,163	－
(1) 買掛金	148,303	148,303	－
(2) 未払金	59,955	59,955	－
(3) 長期借入金	647,750	649,351	1,601
負債計	856,008	857,610	1,601

（注）１ 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

負 債

(1) 買掛金、(2) 未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 長期借入金

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

2 投資有価証券のうち、非上場株式（連結貸借対照表計上額5,114千円）、投資事業組合への出資（連結貸借対照表計上額52,731千円）については、市場価格が無く、時価を把握することが極めて困難なことから時価開示の対象とはしておりません。当連結会計年度において、非上場株式について34,886千円の減損処理を行っております。

3 金銭債権の連結決算日後の償還予定額

	1年以内 （千円）	1年超 5年以内 （千円）	5年超 10年以内 （千円）	10年超 （千円）
預金	968,897	－	－	－
売掛金	274,860	－	－	－
合計	1,243,757	－	－	－

4 長期借入金の連結決算日後の返済予定額

	1年以内 （千円）	1年超 2年以内 （千円）	2年超 3年以内 （千円）	3年超 4年以内 （千円）	4年超 5年以内 （千円）
長期借入金	33,000	164,750	300,000	150,000	－
合計	33,000	164,750	300,000	150,000	－

7．1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額　154円56銭

(2) 1株当たり当期純損失　△72円37銭

８．重要な後発事象に関する注記

（事業譲受）

当社は、平成29年10月13日付の取締役会決議に基づき、株式会社DMM.comの有名人等とファンを結ぶコミュニケーションアプリ「DMM.yell」事業の譲受に関する事業譲渡契約を同日付で締結し、平成29年11月１日付で当該事業を譲り受けました。

(1) 事業譲受の目的

当社グループでは、平成29年９月期の事業戦略として、当社の資産を活かした新たな事業領域への投資を強化し、持続的な成長構造の構築を掲げ、事業に取り組んでおりました。成長を加速させるため、エンターテインメントとマーケティングである既存事業の周辺領域を軸とした新規事業を推進する専任部門を新たに発足して事業規模の拡大及び事業領域の拡充を図って参りました。

当該事業は、有名人等とファンを結ぶコミュニケーションアプリであり、ファンは気に入った有名人等の投稿記事を見て、購入したポイントを使用してyell（応援）します。yell数ランキング上位に入った有名人等は、テレビやライブなどに出演できるという仕組みとなっております。

これまでのモバイルゲーム事業で培ったフリーミアムモデルでのアプリ運用経験、ゲーム内やイベントにおける有名人とのタイアップ企画の実施、また、イベントの企画や関連グッズの企画、製作、販売を行う「coscrea（コスクレア）」の展開など、既存事業との高い事業シナジーを見込んでおります。

(2) 事業譲受の概要

① 相手先企業の名称
株式会社DMM.com

② 譲受事業の内容
・有名人等とファンを結ぶコミュニケーションアプリの展開
・その他、上記に付随するサービス

③ 事業譲受の実行日
平成29年11月１日

④ 譲受事業の資産、負債の項目及び金額
固定資産：33,087千円
流動負債： 1,961千円

個別注記表

１．重要な会計方針に係る事項

(1) 資産の評価基準及び評価方法

有価証券

子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法によっております。

その他有価証券

時価のないものは移動平均法による原価法によっております。

なお、投資事業組合等への出資については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産	定率法によっております。ただし、平成28年４月１日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数については下記の通りであります。 建　　物：８～18年 工具、器具及び備品：４～15年
② 無形固定資産	定額法によっております。なお、ソフトウエアについては、当社の利用可能期間（５年）に基づいております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案しております。

賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当期期間対応額を計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

２．追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号　平成28年３月28日）を当事業年度から適用しております。

（連結納税制度の適用）

当社は、当事業年度より連結納税制度を適用しております。

３．貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	30,227千円
(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
金銭債権	781,444千円
金銭債務	112,969千円

４．損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引の取引高	1,574,886千円
営業取引以外の取引高	863,064千円

５．株主資本等変動計算書に関する注記

自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首の株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末の株式数
普通株式	33株	－株	－株	33株

６．税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
税務上の繰越欠損金	138,621千円
賞与引当金	4,672千円
減価償却超過額	37,370千円
投資有価証券評価損	10,682千円
関係会社株式評価損	3,062千円
未払事業税	2,459千円
その他	3,859千円
繰延税金資産小計	200,727千円
評価性引当額	△200,727千円
繰延税金資産合計	－千円

7．関連当事者との取引に関する注記

子会社及び関連会社等

種　類	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引内容	取引金額（千円）	科　目	期末残高（千円）
子会社	アクセルゲームスタジオ株式会社	所有 直接　100.0%	管理業務受託 モバイルゲームの運営 役員の兼任	資金の貸付	630,000	短期貸付金	630,000
				貸付金の回収	230,000	－	－
				受取利息	3,064	未収入金	1,703
				管理業務受託 経営指導料	165,252	売掛金	18,275
				モバイルゲームの運営委託	1,346,073	買掛金	112,686
						未収入金	20,765
				経費の立替	603,364	立替金	44,509
子会社	アクセルゲームエンターテインメント株式会社	所有 直接　100.0%	モバイルゲームの配信 役員の兼任	モバイルゲームの配信委託	786,920	未収入金	66,187

取引条件及び取引条件の決定方針等

（注）１．上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

２．貸付金の金利については、市場金利を勘案し決定しております。

３．管理業務受託、経営指導料等については、業務内容を勘案し、当事者間の契約により決定しております。

４．モバイルゲームの運営委託については、一般の取引条件を考慮した当事者間の契約により決定しております。

５．モバイルゲームの配信委託については、一般の取引条件を考慮した当事者間の契約により決定しております。

8．１株当たり情報に関する注記

(1) １株当たり純資産額　257円56銭

(2) １株当たり当期純損失　△28円66銭

9．重要な後発事象に関する注記

（事業譲受）

当社は、平成29年10月13日付の取締役会決議に基づき、株式会社DMM.comの有名人等とファンを結ぶコミュニケーションアプリ「DMM.yell」事業の譲受に関する事業譲渡契約を同日付で締結し、平成29年11月１日付で当該事業を譲り受けました。

その概要は、連結注記表「重要な後発事象に関する注記」をご参照ください。